

富士山（3,776m）

平成27年8月18日(火)～21日(金)

L 藤木(晴) 笹山 記録,渡邊 以上3名

*行程 富士山駅(吉田口コース)往復

平成27年8月19日(水)

9:10 富士吉田発(小型バス)

9:37～9:45 馬返し(1,450m)

12:45 五合目佐藤小屋(2,230m)宿泊

18:15 消灯

平成27年8月20日(木)

0:00 起床 0:30 佐藤小屋出発

1:10 六合目 2:15 七合目(2,700m)

4:20 八合目(3,100m) 6:10 九合目(3,580m)

6:50～7:40 吉田口山頂

＝吉田、須走下山専用ルートへ

8:20 八合目吉田、須走下山ルート分岐

9:00 七合目緊急避難所

9:50 六合目スバルライン分岐

10:20～10:40 五合目佐藤小屋

12:15～13:15 馬返し 13:45 富士山駅(吉田口)

18日(火)4時自宅を出て、途中コンビニにより、笹山さんを乗せ、藤木宅を5時に出発。

7時45分、千歳からLCC、成田からバス、東京駅からJR、新宿からバスを乗り継いで15時15分、富士山駅(吉田口)に到着。



富士山駅



バスターミナル

何日か前に送った登山用具が届いているか心配しつつビジネスホテルに入る。荷物は無事着いてほっと一安心。明日の天気予報を見ながら荷物を開け登山の準備をする。外に出て駅前の居酒屋で食事(アルコールも)をしながら登山計画を確認した。まだまだ、飲んでいたいが早々に切り上げ21時30分消灯。

19日(水)5時起床。朝食を駅前のモスで済ませ9時10分のバスに乗る。バスといっても10人乗りのマイ

クロ、先に同じ場所から出たスバルライン(5合目)行きのバスにはけっこうの登山者が乗ったがマイクロには数えるだけ。馬返しで記念写真を取り古道をいく。馬返し(零合目)から歩きが始まるといってもここはすでに1,450mの標高がある。歩き始めてすぐに茶屋があり、お茶をふるまってくれた。後で知ったが悪天候時は開かないらしい。



馬返し

鳥居を通り登山の始まり

今回、登山者数人しかあつてはいないが昔は富士山の登るため、ここの登山道(古道)を草鞋で頂上を目指した大勢の先人たちがいた事を思いながら歩く。



一合目と古道の石畳



景色を観ながら歩いているうちに5合目の佐藤小屋に着いた。



佐藤小屋で岩崎元郎さんに遭遇

早速、明日歩く登山道を確認しつつ周りを散歩、スバルラインの登山道が遠く見え、登山者が登って行くのを確認することができた。小屋のおかみさんの心遣いもあり、明日が早いことを話したら睡眠が邪魔にならないようにと人が通らない奥の部屋を勧められ食事の順番を最初してくれました。食事までの間、時間があるので明日の天気を祈りつつ酒を酌み交わした。食事はマーボー豆腐、串カツ、豚汁、サラダなど美味しく頂き6時15分床についた。

20日(木)、0時起床、0時30分出発、上を見ると山小屋の光が眩しく頂上まで続いて見えている(これって富士山の宿場町?)。

しばらく歩くと火山灰の流れ止めの板の階段の登山道が始まり、足を上げるには段差が高く低いところを選び歩く(意外と足に負担?)

雨が降り始めてきたので急いで雨具を着た。七合目あたりから溶岩のごつごつとした岩場になり、足元に注意をしながら慎重に高度を上げていく。



六合目、雨はまだ、その後すぐに雨が降り出して来た



八合目に着く?小屋ごとに八合目と書いていて、本当の八合目はどこか分からなかった(後で8合目を確認)。雨も本降りとなったが風はなく穏やかで快調に登ることができた。ビニールカップで登っている他国の人は低体温すれすれだったのではと思う。3,000mからは未知の世界、呼吸を整えながらゆっくりと歩く。いつの間にか頂上の久須志神社に着いた。やったぜ。



富士山山頂浅間大社奥宮にて

神社ではお参りをして、登頂を喜び合いました。頂上は寒く癒すのに小屋で豚汁を購入、佐藤小屋で作って頂いた朝食弁当も出しいっしょに食べる。頂上での食事まんざらでもなく美味しく食べることがで

きた。頂上から下の景色は見えない。がっかり。

50分ほど休憩をとり下山。帰りは下山専用の登山道、火山灰の道でも意外と滑らない。石車に気を付け慎重に下る。また、道が雨で濡れているのではほこりが立たないのでよかった。下がるにつれ雨もやんできた。途中、後ろ向きで歩く登山者が多数いたが運動靴を履いていてつま先に当たって痛いのだろう。登山は甘く見えてはいけないと思う。



緊急避難所と間違いやすい分岐に必ずある地図

五合目の佐藤小屋には登りの半分の時間にもかからずに下山。小屋の主人にコーヒーをお願いして一服。馬返しには12時15分に着く。バス時刻までコーヒータイム。登頂出来たことをかみしめた。



零合目から山頂そして零合目に

ビジネスホテル系列の温泉で汗を流し登頂を記念して心行くまでとはいかないが、ほどほどに美味しい酒を飲んでホテルに帰りました。

21日(金)朝。

これから始まる火祭りの準備の様子を見ながら来年は見に来るぞと思いつつ帰路に。

7時59分、高速が渋滞のため送れないように1時間早いバスに乗り込むJR、バス、を乗り継ぎ、成田に着いたのは2時間以上早く着いて一安心した(前は途中で渋滞に合って間に合わなかったそうです)。千歳には18時到着。自宅には8時過ぎに着きました。計画されたリーダー楽しい山行でした。ありがとうございました。

記録 渡邊

